

(30面)

4校の新設答申

大学設置審

大学設置・学校法人審議会は28日、2019年度に私立大4校の新設などを認めるよう林芳正文部科学相に答申した。ほかに計30校の学部や学科、大学院の新設なども認め、人手不足が指摘されている看護系など

医療関連の人材養成を掲げるこころが目立った。

【関連記事24面に】

新設4校のうち、長岡崇徳大(新潟県長岡市)と岐阜保健大(岐阜市)はいずれも看護学部看護学科を置き、福岡国際医療福祉大(福岡市)は理学療法士や作業療法士を養成。和歌山信愛大(和歌山市)は教育学部子ども教育学科を設置する。学部新設は、順天堂大(東京都文京区)の保健医療学部などが対象。文科省は、若者の東京一極集中の是正に向け、東京23区内の私立大の学部新設を原則として認めていないが、既に施設整備などが進んでいるとして特例で認めた。私立大3校が学部や学科の新設の申請を取り下げ、公私立15校の学部や大学院の新設などは保留とされた。

岐阜保健大新設を答申

大学設置審

大学設置・学校法人審議会は28日の林芳正文部科学相に対する答申で、県内では岐阜保健大(岐阜市東鶯)の

新設を認めた。今月中には文科相の設置認可が出る見込み。

岐阜保健大の設置を申請していた学校法人豊田学園(豊田育子学園長)は、現在の岐阜保健短大看護学科の募

集を停止し、新設する4年制大学の短期大

学部へと移行する。来年度からは4年制大学の看護学部で学生を受け入れる。定員は80人。

同法人では高度化す

る看護技術に対応するため、模擬の病室や手術室を備えた研修施設を整備するなど、大学新設への準備を進めていた。同法人は、地域に寄り添う看護師育成に向け、さらに看護教育を充実させる」としている。

(原田大介)